

令和2年 交通安全功労者・功労団体表彰選考結果一覧

(個人 の 部)

該当無し

(団 体 の 部)

3団体

1	たすけあいもみじ (田原本町)
2	泉寿チーム (大和郡山市)
3	南田原子ども育成ネット見守りボランティア (生駒市)

交通安全功労者・功労団体の活動概要

	名称・所在地	活動の概要
1	たすけあいもみじ	<p>磯城郡田原本町西代に居住する高齢者らが独自に構成した共助組織である同団体は、「地域の安全は自分達で守る」という目的から創設され、代表の乾氏を始め会員全員が高い共助の意識を持ち日頃から交通安全活動を積極的に推進している。</p> <p>主な活動として高齢者自転車大会に参加し、交通ルールを学ぶとともに自転車の正しい乗り方についての知識や技術の習得、薄暮時間帯における反射材等を活用した交通安全教室の開催、独居高齢者宅訪問での、交通安全ワンポイントアドバイスの実施等を行っており、安全意識の普及及び交通事故防止に多大な貢献をした。</p>
2	泉寿チーム	<p>奈良県交通安全高齢者自転車大会において第3回大会から毎年出場している。同団体は大会に参加するだけではなく、大会前には同地区内の高齢者に対し、積極的に自転車大会参加を呼びかけるとともに、多くの高齢者に対し交通ルールやマナーを周知するなど、高齢者の交通安全活動を積極的に推進し、交通事故防止に尽力するなど、交通安全意識の普及及び交通事故防止に多大な貢献をした。</p>
3	南田原子ども育成ネット 見守りボランティア	<p>平成16年に平群町で発生した女兒誘拐事件（楓ちゃん事件）を契機に、地元として子どもの安全安心に役立ちたいとの思いから見守り隊を結成し、一声運動の実践と安全横断の励行を実施している。</p> <p>交通量が多い国道168号線の中でも特に通行車両の往来が激しく交通事故の危険性が高い壱分ランプ北交差点で、横断する一分小学校の児童の登校時間に合わせ、1日2名～4名が交代で車両の交通誘導を図り、児童の安全確保に努めている。子ども達の顔や名前を覚え、「〇〇君、おはよう」「〇〇さん、いってらっしゃい」と毎朝登校する子ども達に一声かけている。</p> <p>結成後、長年にわたり継続して児童の安全安心に努める活動を実践し、交通安全意識の普及及び交通事故防止に多大な貢献をした。</p>